

令和3年3月20日

〒699-1251
雲南市大東町大東2419-1
大東交流センター
TEL(0854)43-2130



E-mail:daito-c@hotmail.yoitoko.jp
http://user.yoitoko.jp/daito-c/

大東交流センターだより

発行：大東地区自治振興協議会

第20回記念 島根県小学生バレーボール新人大会

(2月28日)



男子・女子チーム
アベック出場

男子準優勝 おめでとう!!



大東ホタルキッズ

【活動目標】

- ・バレーボールを楽しみます。
- ・あいさつや思いやりを大切にします。
- ・バランスのとれた運動能力や基礎技術を身に付けます。



大東体育文化センターでの練習





まちづくり活動計画の策定と配布について

策定委員長 青砥 裕二

大東地区においては、雲南市の合併当初に、他地区とは異なった先進的な組織形成で大東地区自治振興協議会が設立されました。新設された交流センターを拠点として、「地域づくり」「地域福祉」「生涯学習」の三本柱を基本として、指針となる「地区計画」が策定され、各種団体・組織を総括する自主組織として今日まで活発に運営がされてきました。

しかし、合併以来16年を経過するようになると、先進的な組織形態であるがために、地区の皆さんからは、大東地区自治振興協議会と大東地区振興会の区別、役割、事業が明確に分からないという声を多く聞くようになりました。そこで広く情報発信するため、昨年はホームページを構築して公開されました。さらに、以前策定された「地区計画」を、新型コロナウイルス禍で新たなる生活様式が提唱される中、これまで以上に地域の課題を克服して、持続可能なまちづくりを進めていくために、新たな指



針となる「まちづくり活動計画」(冊子)を策定して全戸に配布することになりました。皆さんには、大東地区自治振興協議会の運営に、これまで以上のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



あいさつが響き合う町づくりを

あいさつ運動大東推進協議会

活力のある地域、安全安心な町、また子どもたちの健やかな成長に「あいさつ」は大きな意味があります。あいさつ運動大東推進協議会では、児童のアイデアも借り、新しいのぼり旗とともに、運動をさらに盛り上げていきます。

中学生高校生の元気なあいさつを受け、清々しい思いになることがあります。大人としてハッとさせられます。

コロナ禍は、人と人を分断するかのようになり、あいさつの声をかけあうことさえ、気を遣います。また、幼児や小学生の中には、あいさつはするものではなく、されるものと思っているのではという意見もあります。

あいさつは一方通行ではなく双方向のもの。つながりあい支え合って生きる、人としての暮らしの基本だと思います。

このたび、本協議会で標語を選定し、大東小6年生にイラスト募集しました。小学校のご協力も得、右記の11名が入選作となりました。

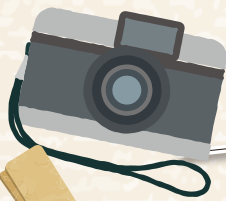
大坂 光咲	大島 敦生	木村 璃音	栗原 望杏
佐藤 悠生	高田 耶弥	戸屋 成海	中村 紗和
布野 泰成	山田 小遥	和多田 侑子	(50音順：敬称略)

入選作からいくつかのパーツを活かし、新しいのぼり旗を作成しました。子どもたちにとっても、また活力ある安全な地域作りのため、地区民の皆様のご理解ご協力をお願いします。

- 登下校時の子どもたちにあいさつの声をかけましょう。
(大東小中の児童生徒には、地域の人とのあいさつについて話してあります。)
- あいさつをする、あいさつを交わし合う大人の姿を子どもに伝えましょう。

※新しいのぼり旗は、近日、各自治会などの協力を得て、町中に立つ予定です。





パブリ掲示板

Photo bulletin board



加多神社節分祭

「福は内、コロナ外！」疫病の鬼の退散願う
今年も2月3日節分の日に1年の無病息災・五穀豊穡を祈願する神事が行われました。今年は園児たちの元気な豆まきによる鬼退治はコロナ禍によりできませんでしたが、拝殿から年男・年女らによる豆まきと紅白の餅まきがあり、参拝した皆さんそれぞれに疫病退散豆、福餅を持ち帰りました。



JR出雲大東駅待合室

折り紙による桜飾りを見に来てください

「雲南せいねんだん」ものづくり部による天井アートの取り組みが3月6日から始まりました。雲南の四季を彩るこのクラフトアート第一弾は、折り紙などで雲南の桜が表現されています。今後は、ホタルや七夕などを予定しているとのこと。



休憩ベンチの設置

おちらと腰おろいてごしなはい

大東地区福祉委員会と大東地区女性振興会では、旧大東総合センター横にある空き地を有効に活用するためにベンチを設置しました。買い物帰りの一寸した休憩に、待合や語らいにベンチを利用してください。

あれから10年で思うこと

大東地区福祉委員会 前会長 中井美佐子

2011年3月11日の東日本大震災から10年が経過しました。いろいろ報道される中、翌年の11月に私たち当時の地区福祉委員会有志で宮城県石巻市の被災地に向かったことを思い出します。

すべて流されて海から小高い丘まで何も無い状況に驚かされました。中ほどに建てられていた大川小学校の外壁だけがポツンとありました。被災された5～6人の方の健康チェックや生活の様子を伺い、震災当時を振り返る余裕もなく、歯を食いしばって必死に一日一日乗り越えておられる様子が伝わってきて胸が熱くなりました。

死者1万5899人、行方不明者2527人、い



被災した大川小学校

まだ4万2415人が避難生活を強いられているこの大震災とともに、世界中で蔓延し、収束の目途が立たない新型コロナウイルス感染症で、より一層重く思うことは、何よりも命の大切さであり、人との温かな絆です。

あらためて『誰もが住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けることができる支え合い・助け合いのまちづくり』が大切だと思います。



コロナ禍を皆で乗り越えて、またお会いしましょう

早稲田大学留学生ホームステイ事業2018 王 霏平(愛称アン)



ホストファミリーの小山ご夫妻(大木原)

雲南省の国際交流から早3年が過ぎました。雲南省でのたくさんの思い出を懐かしく思っています。

2019年の夏に大学を卒業し、ニューヨークにある幼稚園で働き始めました。最初はなかなか

授業に慣れず苦労しましたが、毎日に子どもたちのコミュニケーションも取れるようになり、とても楽しくいろいろな遊びをすることができました。毎日幼稚園で子どもたちと触れ合い、子どもたちの成長を見ていると、とても充実感があり、毎日楽しい日々を過ごすことができました。

3月、ニューヨークではコロナウィルスで多くの感染者が発生したため、私はやむ無く台湾に帰国しました。台湾はコロナウィルスに対してとても厳しい感染予防対策が行われています。例えば、家を出て公共の場所、店舗、公共交通機関などでは、検温やマスク着用は絶対的条件です。海外から帰国した場合は、3週間の隔離義務が課せられます。このように徹底したルールのもとで台

湾での感染者数は少なかったのです。

コロナの影響で幼稚園の授業はオンラインになりました。初めてオンラインクラスをやったから、たくさん挑戦がありました。時差が一番大変なことで、毎朝3:30の授業は本当眠かったです。最初はなかなか授業に慣れず苦労しましたが、毎日に子どもたちともコミュニケーションも取れるようになり、とても楽しくいろいろな遊びをすることができました。

私は6年間、海外に住んでいましたが、コロナ禍の影響で台湾に戻ってからは家族や友達と過ごす時間も増え、花蓮、台中や台南など出かけることができました。一番嬉しかったことは6年ぶりに、家族と一緒に春節(旧正月)を祝うことができたことです。祖父母、叔父、叔母達と一緒に伝統的な食事を作ったり、たくさん話すことができて、家族と一緒にいる幸福感を再認識しました。私自身も短い時間で大きな変化がありました。

全世界の人の生活はコロナ禍によって悪いことが続き、大きな変化を強いられましたが、一番は自分の健康を自分が守る事が大切だと思います。大東町の皆様には十分お身体に気をつけてください。

それでは、新型コロナウイルスが終息し、また雲南省に行けることを楽しみにしています。



「挑戦!大東一心」

大東野球スポーツ少年団 監督 内田 伸治



(絵:大東町東町北 細田 滋)

昨年(2020年)は、新型コロナウイルス感染症により、練習の自粛、大会の中止など、かつて経験したことのない特別な一年となりました。特に、ポップアスリート星野仙一杯では、県大会、中国大会を勝ち抜き、静岡県で開催される全国大会の切符を手にしりましたが、感染拡大や子どもたちの健康リスクを考慮し、出場を辞退することになりました。子どもたちは大変残念な思いをしましたので、今年はコロナが終息し大会が普通に開催されることを願っています。

さて、大東野球スポーツ少年団の横断幕には、「挑戦!大東一心」を掲げています。子どもたち、保護



者、指導者、地域の方のすべての力を結集し、一つのチームになって目標に挑戦しようという思いを込めたものです。

また、2月には大東高校野球部と大東・加茂の学童4チームとの交流会が初めて開催されました。高校生の真剣で迫力あるプレーを見て子どもたちは大きな刺激を受け、高校生も小学生に分かりやすく教えることで野球を見つめ直す機会になったのではないのでしょうか。こうした交流が継続され、小学校から高校まで「大東一心」の精神が広がってほしいと思います。地域の皆様には暖かいご声援をよろしくお願いします。

全国からの お便り



わが青春時代

神奈川県川崎市(織部出身)

山本 増雄(S13年生)

私は田中との境に近い織部が出身地である。小学校に入るや否や、当時、最も嫌われた結核を罹患し、出始めたばかりの薬を服用したが、長期間休まねばならなかった。その後病氣も完治し、小学校へは50分、中学校は60分、高校は40分か、足腰鍛えられつつ通った。

高校では演劇部を再発足し数々の劇を発表した。入場料を取っていたら、税務署に知れ税金を取られた思い出もある。生活の全てが演劇につながる毎日だった。あの役はこの娘になど、いっばしの演出家気取りであった。

高校を卒業し上京した。実は中学の時、大東七夕祭りを題材にした日大の映画を手伝った。そして、滞在された大学の先生が力になろうと言ってくれたこともあり、日大の芸術学部に進むしかないと考えていた。しかし、父の許しが得られず、やむを得ず経済学部に入るようになった。(この映画は今も残っているとのこと。うれしい限りである。)

大学では土方や選挙応援演説や英訳など、夥しい数のアルバイトをした。学費は時おり送られる仕送りとアルバイト賃を合算して支払った。

いつ勉強したか?と笑われそうだが、猛勉強も

し、もちろん大学も無事に卒業した。そして卒業後にアルバイトしていた自動車部品や計測機器の製造会社



で、いろいろ英語でのやりとりをしているうちに海外出張をすることになった。どうやらそのまま正社員に採用してやろうと考えていたようで、ぶらぶらしている間に正社員にされた。社員全員を合わせ90名足らずであった。現在は正社員約500人、支社を入れると800人を超える企業になっている。出張先は品川に経済部門の事務所があったソ連の企業であり、一人でソ連に行き展示会で何でも答えられるよう自社製品の猛勉強をした。6ヶ月の出張中には相手先の工場見学も行った。当時はチャイカ(旧ソ連製の政府要人用リムジン)が来ると信号などは無視して通過できる時代であった。

私も高齢になり、大東に帰る機会があるか分からないが、青春時代を過ごした故郷の情景、人情をいつまでも心に刻んでいる。

郷土の暮らしと文化

「不昧公奉納の社号額」

大東の歴史を探る会 宮澤 明久

町内飯田地区に鎮座する素鷲神社は、素盞鳴命(スサノオノミコト)を主祭神とし、疫病退除の守護神、五穀豊穡の神として信仰を集めている。古くは「天王神社」(てんのうじんじゃ)と称しており通称「てんのさん」と呼ばれていたが、明治初期に「天王さん」は「天皇さん」に発音が通じる恐れがあるとのことで「素鷲神社」と社名を改めている。

江戸期の松江藩で疱瘡が流行した折に七代藩主松平治郷(不昧)公(1751~1818)から疱瘡快癒の報賽のため「飯田天王神社」の社号額が寄進された。瓢箪の形をした不昧公の落款も印されている。

裏面には「三代目林久嘉」とあり同人が仲介して奉納されたようである。林久嘉は、宝暦13年(1763)に不昧公の侍医となっている。また同人は享保10年から寛政3年(1725~1791)の間、三斎流の七代目家元を勤めており不昧公の茶道にも影響を与えた茶人でもあった。

この林氏が素鷲神社とどのような関係にあったかは定かではないが、江戸四大飢饉の一つ天明の大飢饉(1782~1788)に際しては飢饉とともに疫病も流行しており18世紀後半の頃に奉納されたようである。

同様な社号額は、玉湯町の玉作湯神社にも奉納されている。同神社には下絵となった直筆の書もあり軸物にして保存されている。



この人に聞く

ふじもと ゆうじ
藤本 雄二さん
 (南本町自治会)

昭和30年生まれの実年世代、大東で生まれ大東で育ち、今も大東で暮らす。本業(居酒屋経営)を営む傍ら趣味の域を超えた技量・技能を活かし、絵画(油絵)の制作に打ち込むとともに、各種絵画教室でも活躍中の日展画家、藤本雄二さんの登場です。



日展特別会員の蘆田裕昭氏とともに

Q 油絵(絵画)との出会いについて

子どものころから絵を描くのは好きでしたよ。本格的に始めたきっかけは、27歳の時、知人の勧めで出雲高校で行われた日展会員の指導会に参加、持参した私の絵が第1席に選ばれたことでしょうか。それを機に、個人レッスンを受けることになり、絵を描くノウハウや描くことの楽しさ面白さを実感するようになりました。それ以後、毎年日展に出品し、挑戦すること10年でやっと初入選、途中8年ほどのブランクもありましたが9回も入選することができました。努力が実り嬉しいことであり、ありがたいことでもあります。今は、東光会(油絵の全国組織)の会員や、日展の会友でもあります。平成4年に初めて日展に入選し上京した時、都立美術館で日展の審査員でもある地元大東出身の画家、蘆田裕昭氏に出迎えていただきました。驚きと大きな感動を受けました。私の一生の思い出であり、人生の大きな転機にもなりました。

Q いつ絵を描くのですか。

普通は早朝が多いですね。静寂の中で一人静かにキャンパスに向かいます。15分ぐらいだったり2時間ぐらいだったりいろいろです。筆を持たないときもあります。出来上がりの期間も当然まちまちです。半年以上の時もあります。

ひとつひとつ、一筆一筆、心を込めた作業の連続で出来上がるのですね。

Q 絵画教室について聞かせてください。

絵画教室もいろいろな方面で担当・指導しています。大東地区交流センターで生涯学習の一環として1回/月、また、子どもを対象にした「きらきら雲南わんぱく教室」を古代鉄歌謡館と市民体育館で2回/月、放課後こども教室、3C「夢」クラブをラメールで1回/月続けています。

描く対象が風景でも、静物でも絵に描こうと思うと観る目も変わってきます。集中し、心も落ち着かないと絵は完成しません。特に子どもさんは絵を描くことによってその効果が高まると思います。ある教室ではその日の作品の中から一つ選び額に入れて1ヶ月間展示したりします。皆の向上心を高め、ますます興味を持つことにつながります。誰でも褒めてもらえることはうれしいことです。これは子どもも大人も一緒です。絵を描くことで人生観も変わるような気がします。



大東生涯学習絵画教室受講生

Q 奉仕作業も続けられていますか

数年前に松江木次線バイパスが3工区まで開通し、供用開始となりましたが、私の自治会範囲内の約300mの歩道沿いを綺麗にしようと思い立ち、除草したりごみを回収したりしたのが始まりです。年2~3回ですが、今でも妻と二人で続けています。

こうした目に見えない地道な活動があって美化が維持されていってますね。

「絵は心で描くもの、絵の中に作者の心が見えて来ないと見る人も感動しない。」ことも話していただきました。いろいろと夢は広がります。これからも藤本画伯の飽くなき挑戦が続きます。(記、西村 武)



あいあい募金

(香典返し)
 ・大東町(中町)太田 琢磨様

ご寄付に感謝致します

皆様からお寄せいただいたご寄付は地域の絆を深め、支えあう活動に対する補助金等に活用させていただきます。

大東地区振興あいあい募金運営委員会
 (TEL: 43-2130)

令和3年2月末現在の人口・世帯数【()内は対前々月比】

項目	雲南市	大東町	大東地区
総人口	36,987人 (-115人)	11,782人 (-36人)	3,462人 (-15人)
男性	17,845人 (-44人)	5,733人 (-18人)	1,664人 (-9人)
女性	19,142人 (-71人)	6,049人 (-18人)	1,798人 (-6人)
世帯数	13,689世帯 (-22世帯)	4,146世帯 (-10世帯)	1,259世帯 (-1世帯)
高齢化率	39.53% (+0.15%)	39.37% (+0.18%)	—

資料：雲南市HPより